

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ジャンプ南国		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、作業療法士が在籍。児童に応じて、機能訓練や指導を行っている。 職員に対しては、専門的知見からのアドバイスなどを行っている。	療法士から専門的な助言を受け、保育士等が毎日の活動の中でも取り入れている。	保育士や児童指導員への支援方法のアドバイスの他、保護者へも支援方法や日常生活動作関連のアドバイスを行って関係作りをしていく。
2	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	主に長期休暇時にお出かけやお買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	現在は年代に関係なくほぼ同じ活動をしているが、上級生・下級生等その年代に合った活動ができるように取り組んでいく。
3	畑があり様々な農業活動ができる。	農業体験は、自然の中で体を動かして土や植物と触れあうことができ、栽培や収穫を通じて、様々な経験ができるように取り組んでいく。	協力して畑を耕したり、野菜を植えることで、チームワークや協力する楽しさを感じることができるよう、取り組んでいく。また一緒に体験することで、新しい発見や思い出を共有し楽しく過ごす。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流など地域に向けた事業所運営ができていない。	・地域の行事やイベント等は積極的に参加しているが、地域との交流は、どのように進めればいいのか方法が難しい。 ・外部機関とつながれるようにする体制づくりの時間の確保が難しい。	・日頃からの関わりを大切に、関係を深めながら連携できることを検討していく。
2			
3			